

—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—



月刊

ポケットあわじ



淡路は体験玉手箱



VOL.155

もくじ

P1 玉ねぎ収穫体験 P2 川体験・天体観測体験 P3 しいたけ狩り・植菌体験 P4 火おこし体験 P5 お写経体験・おはなし隊 P6 淡路文化会館・淡路消費生活センター・PF淡路島からのお知らせ P7,8 淡路の文化活動・イベント情報

淡路島ええもん体験 玉ねぎ収穫



大人も子供も体験してみ!

玉ねぎとったどー



濱田ファーム

南あわじ市松帆志知川 090-1582-7592

濱田夫妻

淡路島で甘い玉ねぎやおいしい野菜・米を作って販売しているという南あわじ市の濱田ファームを訪ねました。本日の主人公は濱田哲司さん(59才)と、奥さんの厚子さん。哲司さんの顔はどこかで見たことがあるぞ、と思い出してみると、そうだ!「道の駅うずしお」のお土産コーナーに大きなポスターがあったのを思い出しました。南あわじ市の市職員でしたが、みんなによるこんでもらえる安全・安心な食べ物を作りたいと、早期に退職して現在は専業農家。

玉ねぎ「ゴクワセ」から、「オクテ」の7品種、赤玉ねぎ・白玉ねぎを合わせ、全10品種。さらに、冬どり玉ねぎ「シャルム」。そしてレンゲ米、たくさんの野菜を作っているエコファーマーてっちゃんです。そして、それを手伝う奥さん「あっちゃん」の仲良し夫婦。人生には楽園が必要だといいます。冬どり玉ねぎを食べてほしい、と私たちに「シャルム」をいきいきと紹介してくれるてっちゃんとあっちゃんは、まさに人生の楽園の現在進行形です。あ、そうそう、今日は人生の楽園でなく淡路島体験の紹介でした。

そんな濱田ファームでは南あわじ市商工会が主催する「ええもん体験」や旅行会社が主催する体験バスツアーで玉ねぎの植え付け・収穫が体験できます。濱田ファームの田んぼでは、植え付けや収穫を体験する家族連れや、観光バスで体験に来た人が昨シーズンは約900人もいたとか。「ええもん体験」では玉ねぎの抜き取り体験後、新玉ねぎのおいしい試食もできます。また、京阪神からやってきたバスツアーのお客さんは、玉ねぎ収穫体験だけでなく、「道の駅うずしお」や「うず

の丘大鳴門橋記念館」で玉ねぎづくしランチが堪能できるとか。淡路島に住んでいて、玉ねぎの田んぼがごく当たり前に身近にある我々にとっては、そんなに珍しい体験ではないのではないかと思います。島外の人からみると、魅力的な体験なのです。ほとんどボランティアに近い取り組みですが、あっちゃんは、体験に訪れた家族との交流が始まり、自分たちの作った野菜が人に喜んでもらえるのを見ると、田んぼの草引きの苦労も報われる、と言います。野菜作りに生き生きと取り組んでいる濱田ファーム夫妻はやっぱり人生の楽園進行中です。



冬どり玉ねぎシャルム収穫

* 玉ねぎの旬は初夏ですが、「冬でもフレッシュな新玉ねぎを食べたい!」という声に応えるべく開発されたのが、冬どり玉ねぎ「シャルム」です。



ウクレレ体験



淡路島ウクレレ hicoca

島し実行委員会 代表 矢吹 穂一 090-4033-3971



かえるのうたと
きらきら星が
弾けるようになったよ!



おだやかな海に、ぷっかり浮かぶ淡路島。なんだかウクレレのかたちにみえませんか？

平成23年に、ウクレレ好き6人が集まってサークル活動が始まりました。ウクレレの魅力にとりつかれたメンバーが、淡路島にもっともっと、ウクレレ好きを増やそうよ!!! 淡路島にもっともっと、ウクレレ好きに来てもらおうよ!!! ということで、「淡路島 ウクレレ hicoca」という練習会を、2か月に1回開催しています。腕に自信がある方も、これからはじめてみたい方も、ウクレレをみんなで奏でませんか？

応援隊も、子どもといっしょにウクレレ体験してきました!! ウクレレの持ち方から始め、コードの押さえ方や弾き方を楽しく丁寧に教えていただきました。ウクレレが弾けるようになると、楽しい毎日が始まりそうです。

応援隊:池田 けい・藤本 法美

第8回「淡路島 ウクレレ hicoca」

日時:4月12日(日)

13:30~16:30 * 13:15(受付開始)

参加予約不要

参加費:500円(会場代・楽譜コピー代)

場所:洲本市文化体育館(会議室2-C)

* さらに! 「淡路島ウクレレhicoca デラックス」《花みどりフェア花博15周年記念イベント》が5月17日(日)淡路夢舞台野外劇場にて開催されます。



民家の屋根が
スライドループで横に動き
反射望遠鏡が現れる!



無料!

天体観測体験

1990年に淡路天文同好会、三原天体観測所として沼田浩孝さんの家の屋上に立派な天文台が建設されました。阪神淡路大震災で被災し20年近く資金難で放置されていましたが、お兄さんの支援をうけ2014年1月完全復活しました。

去年8月ナニコレ珍百景で珍百景に登録されました。普通の民家の屋上に屋根がスライドループで横に動き、大きな30cm反射望遠鏡が現れます。沼田さんは、晴れの日ならばいつでも、10人程度集まれば、観測会を無料でしていただけます。3日前までに予約を入れて、当日天候を見て午後6時頃観測できるか決めますので確認の電話をしてください。

また春から夏の間(4月~9月末)鳴門タクシー天文台出張天体観測会もしますのでご利用ください。

応援隊:坂本 厚子



珍百景



問い合わせ・予約はnumata@hikouken.com
電話確認は090-9612-1749へ
観測対象、観測時間などを教えてください。

しいたけ狩り体験 しいたけ植菌体験



洲本市の中心部から約6km、洲本市最高峰柏原山の山懐、竹原ダム(貯水池)のすぐ近くに日本の原風景を感じさせてくれる「あわじ花山水」があります。

車で約15分、千草川から竹原川沿いのせせらぎを聞きながら歩いても1時間30分くらいでこの別天地に到着します。ハイキングの距離にはぴったりですね。「あわじ花山水」といえば「あじさい園」として知られていますが、原木しいたけ栽培も先代のころから続けています。

オーナーの水田進さん(65才)は大手通信会社に勤めていましたが、52才で早期退職して、しいたけ栽培を引き継ぐとともにあじさい園を作り、その規模を徐々に広げていき現在に至っています。

ここには懐かしい日本の原風景があります。



メダカが泳ぎ、小鳥のさえずりが聞こえるあわじ花山水



あわじ花山水

洲本市千草戊60番地(竹原ダムの近く)
電話 0799-22-7300



植菌体験は
2月~3月

現在のしいたけ栽培は菌床栽培が主流で、流通しているしいたけのほとんどがこの菌床栽培のものだそうです。あわじ花山水では原木栽培にこだわっており、その香りや歯ごたえは格別でとても美味しいとのことでしたが、残念ながら取材時には時期外れでいただくことができませんでした。水田さんはしいたけ栽培の技術が認められ、平成22年度には兵庫県から「兵庫県林業賞」を受賞し、平成23年度には国土緑化推進機構から「森の名手・名人」に選定されました。

その「しいたけ狩り」や原木にしいたけ菌を打ち込む「植菌」を体験できます。時期は限られていますが、大きい肉厚の原木しいたけを自分の手で収穫してみませんか。また原木にドリルで穴を開けて、しいたけ菌を植えてみませんか。

「しいたけ狩り体験」は10月~11月、「植菌体験」は2月~3月ですが、いずれも予約が必要です。またあじさい園は6月上旬から約1ヶ月が見ごろだそうです。

澄んだ空気と清らかな小川の中にはメダカが泳ぎ、小鳥のさえずりを聞きながら昔なつかしい日本の原風景を体験できる「あわじ花山水」をぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。その他詳しくは電話でお問い合わせください。応援隊: 田処 壱久



収穫体験は
10月~11月



弥生時代の 火おこし体験



鉄器製造群落遺跡

先月いざなぎ学園2年生30名と共に、淡路市黒谷五斗長(ごっさ)地区の丘陵で2007～2008年度の水田整備に伴う発掘で発見された『五斗長垣内遺跡』へ体験学習に行ってきました。淡路島北部の西側斜面の海岸から約3km、標高200mのところであり、播磨灘を一望できました。

『五斗長垣内遺跡』は、今からおよそ1800年前の弥生時代後期の国内最大規模の鉄器製造群落遺跡です。そこには23棟の竪穴建物跡が見つかり、そのうち、最大のもので直径10mの炉跡のある建物が12棟あり、石製工具類とともに、多くの鉄製品が出土しました。これらの出土品によって当時の貴重な鉄器づくりを知ることができます。



火おこし体験



鉄鏃(やじり)づくり

復元された大型鍛冶工房、『ごっさ鉄器工房』で火のおこし方を体験してみました。

まず、平らな木に少しくぼみを作り、もう一つの木は先を尖らせて、くぼみの木にあわせてこすり続けました。なかなか思うようには火をおこせません。30分位してやっと煙が出てきます。ここでほっとして

手を休めず、息を吹いて火花のようなものが少しでも見えたら、すぐさま、木屑に似たものをそれに引っ付けます。息を吹き続けると、汗とともに、神々しい火の光が輝いてきました。この有り難い感動体験は、百聞は一験にしかずですよ。あなたもお試しあれ！

この火おこしが、鉄鏃(やじり)づくりにつながります。五寸釘をおこした火で熱くして、石槌でたたいて平らにして、矢をつくる作業です。その際皮袋

を用いて空気を送り続け、火をおこし続けなければなりません。それは、まさに息の合った協働作業の連続です。「弥生時代の人々のモノづくりの精神・智慧はすごい！」の一言です。

『五斗長垣内遺跡』は、拠点施設を中心に、弥生の森の育成や鉄器づくり体験など市民参加型の史跡公園として整備されていくとのこと。市民の憩いの場所として、今後益々発展することを心から期待しています。

応援隊:岡 まさよ

五斗長垣内遺跡

淡路市黒谷1395-3番地[9:00~17:00] (月曜日定休、ただし祝日の場合は翌平日)

☎0799-70-4217

※ご予約:10名様以上の団体でガイド希望の場合は、事前に連絡をください。

※遺跡にちなんだ鉄器づくり(無料)や 勾玉づくり(有料)の体験もしていただけます。

※『まるごキッチン』(五斗長の野菜手作り料理) 土日のみ営業(10:00~16:00)



淡路西国第26番 「平生山・東山寺」での お写経体験

無我の境地で
お写経体験。



東山寺



お写経奉納カード

東山寺ご住職：竹内 慈皓さん 住所：淡路市長沢1389(海拔360m) 電話：0799-64-1185

3月寒波とは打って変わったポカポカ日和に、淡路市長沢の「東山寺」へお写経をさせていただきに参加しました。

まず東山寺に着きますと、ご住職さんからお寺の成り立ちについてご説明いただきました。その後、薬師堂へご案内いただき、国重文の「薬師如来立像」「十二神将像」とご対面(撮影禁止)。平安時代に作られた立派な御姿にご対面でき感動しました(薬師堂の拝観は有料です)。

そしていよいよ本堂に移り「お写経」に。東山寺は弘法大師「空海」開祖の寺院ですので、もちろん「真言宗」＝「般若心経」＝「ながーいお経」では？

と想像していましたが、今回お写経させていただいたのは「延命十句観音経」でした。非常に短いお経ながら、昔から信奉されてきた霊験あらたかなお経です。半紙には薄くお手本が印字されており、それをなぞって書いていきます。私のように初めてお写経をされる方にはちょうどいいのではないのでしょうか。小筆や下敷、文鎮もお借りすることができ、至れり尽くせりでした。千手観世音菩薩様の御前で「延命十句観音経」を書いている最中はまさに無我の境地。書き上げると心が洗われたような心地でした。

また東山寺ではお写経とは別に、ご住職さんがご指導されている「花結

び教室」が月に2回開かれています。「結び」とは門外不出の「一子相伝」の格式高いものです。神社、仏閣や茶道にも用いられたり、その昔は「よらい」「かぶと」等、また衣服を留める(ボタンやホックがなかった時代)ために用いられてきました。今は花結びとして広く使われています。こちらの教室にも足を運んでみてはいかがでしょうか。

みなさんも東山寺で「心洗われる一日」を体験してみたいはいかがでしょうか。

生活創造活動専門員：中村 光伸

【お写経】

- 納経料：1巻につき1,000円
- 時間：10：00～11：30と13：00～15：00
- 随時受け付けていただけますが、お寺のご都合によりできない場合がございます。事前にお電話でご確認ください。

【花結び教室】

- 開催日時：月2回 (第2・4木曜日)
- 時間：13：00～15：00
- お月謝：1,500円



花結び

今月の生活創造活動グループ紹介

おはなし隊



平成14年秋、文化会館で行われた“ちびっこフェスティバル”で、人形劇「そらまめくんとめだかのこ」を演じたのが、おはなし隊の初めの大舞台でした。その頃は、メンバーの子供も幼くて、子供をあやしながら公演する時もありました。現在、おはなし隊として、保育園・小学校などで、年間10回ほどの公演を行っています。活動

を始めて10数年、子供は成長して手は離れたものの、それぞれに仕事や親の介護などの合間をぬって、活動を続けています。「そらまめくん」シリーズから始まり、「べんりやポッケ」「ふらいぱんじいさん」「こぎつねコンとこだぬきポン」「となりのたぬき」「ぐりとぐら」「ともだちや」など、人形劇のレパートリーも増えました。また、「実験は失敗じゃ」のハカセとピエロや、「もったいないばあさん」の出し物などで、子供たちと楽しい時間を過ごしています。子供たちの笑顔を見るのを楽しみに、体力・気力の続く限り、この活動を続けていきたいです。

★淡路文化会館からのお知らせ（淡路生活創造応援隊の募集・「いざなぎ学園」受講生募集）

淡路生活創造応援隊 を募集します！！

あなたも生活創造ボランティアに
参加してみませんか？

主な内容:

本紙生活創造しんぶん『ポケットあわじ』に関する取材・寄稿・配布等です。

主な活動日:毎月1回の編集会議

(楽しい情報交換の場となっています)

会議の場所:淡路文化会館(淡路市多賀600)

募集条件:

淡路島内にお住いの方ならどなたでもOKです!



【問い合わせ先】淡路文化会館

TEL.0799-85-1391

「いざなぎ学園」受講生募集!

新しいお友達と
趣味をたのしみたいわ!
淡路島の歴史を学びたいな!

今かがやく、
あなたの
ライフステージ!

学校教育法第1条に規定する大学とは異なります

募集講座:①4年制大学講座(60名)先着順

②2年制大学院講座(30名)先着順

講座内容:郷土文化、歴史、時事、健康、
趣味、地域活動、スポーツ

対象:概ね60才以上の方

受講料:12,500円(その他自治会費等)

募集期間:~4月28日(火)

応募方法:公共施設等の募集案内または淡路文化
会館のホームページをご覧ください

(http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/)

問い合わせ先:淡路文化会館(淡路市多賀600)

TEL 0799-85-1391

★兵庫県淡路消費生活センター・プラットフォーム淡路島のお知らせ★

兵庫県淡路消費生活センターからのお知らせ

★最近の相談★

【訪問購入(訪問買取)にはルールがあります】

「突然宝石や着物を買取に訪問し、高価な貴金属を安価で買い取られてしまった」と言う相談が、全国的に発生しています。

訪問購入(訪問買取)の主なルール

1. 不招請勧誘の禁止
承諾なく突然訪問する飛び込み勧誘は禁止
2. 書面の交付
契約した場合書面の交付が必要
3. 引き渡し拒絶
クーリングオフ内は引き渡しを拒絶出来る
4. クーリングオフ
書面を受け取ってから8日間は無条件解約が可能。「訪問購入」はクーリングオフ期間中であれば代金を受取った場合でも引き渡しを拒否し手元に置いたまま考える事ができます。その場で判断せず近くの消費者センターに相談しましょう。

兵庫県淡路消費生活センター
消費生活相談・多重債務相談
☎0799-23-0993
9:00~12:00 13:00~16:30
(土日祝日・年末年始は除く)



プラットフォーム淡路島からのお知らせ

「平成27年度地域づくり活動応援事業」について

こころ豊かな美しい淡路推進会議では、島内で活動する団体の行動力を高めるとともに、地域の活性化と充実強化につなげる新たな取組みに対し助成を行います。

助成の概要

1 対象団体

一定の地域を基盤に地域活動を行う団体
(自治会、婦人会、まちづくり協議会、青少年育成団体など)

2 対象事業

上記の団体が、地域の課題解決のために他の団体・グループ等との協働のネットワークを広げ、従前の事業の枠を越えて行う先駆的・モデル的な取組み

3 助成額

1件あたり 5万円~40万円(事業説明会での審査があります)

*募集時期、応募方法など詳細については、
下記に問い合わせください。

こころ豊かな美しい淡路推進会議

(淡路県民局県民交流室県民課内)

TEL 0799-26-2043 FAX 0799-26-3090

所	イベント	日時・会場	料金・問合せ先
淡路島 国営明石海峡公園 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10 TEL 0799-72-2000 FAX 0799-72-2100	チューリップアイランドパーティー	4/4(土)~24(金) 9:30~18:00(イベントにより異なる)※園内各所	期間中の週末に、オランダ衣装体験やフラワーガイド、ステージショーなどのイベントを開催 ※料金はイベントにより異なる ※雨天時は中止となるイベントもあり※別途入園料・駐車料金要
	チューリップで染める草木染め体験	4/19(日)※雨天中止 ①11:00~②13:30~ ③14:30~各回10名 ※春一番の丘	750円~ ※別途入園料、駐車料金要
	オランダ衣装体験	4/4(土)~19(日)の土日 ※雨天中止10:00~17:00 ※大地の虹	300円 ※別途入園料、駐車料金要
兵庫県立 淡路夢舞台温室 「奇跡の星の植物館」 〒656-2306 淡路市夢舞台4 TEL 0799-74-1200 FAX 0799-74-1201 10:00~18:00 (最終入館17:30)	春爛漫 花見の庭in琳派	3/14(土)~4/12(日)	入館料:大人600円、65歳以上(要証明)300円、高校生300円、中学生以下無料
	懐かしの花博フラワー&奇跡の植物たち		
	日本の自然が生んだ琳派の世界 —俵屋宗達から今琳派・木村英輝まで—		
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	オーケストラな1日 (花みどりフェア2015協賛事業)	4/5(日) 受付13:00開演13:30 文化ホール『しばえもん座』	観覧無料 【問】オーケストラな1日実行委員会(鈴木) 0799-24-3533
	オペラ歌手による椿姫 ええとこどり!ハイト]サート	4/19(日) 開場13:30開演14:00 文化ホール『しばえもん座』	500円(全席指定※未就学児童入場不可) 【問】洲本市文化体育館
淡路人形座「4月公演」 『神泉苑』 〒656-0501 南あわじ市福良甲1581-1地先 TEL 0799-52-0260 FAX 0799-52-3072 ◎毎水曜日は定休日です。 ◎1(水)、8(水)、15(水)、22(水)は休館です。29(水)は祝日で通常営業のため30(木)に振替休館いたします。	【通常公演】4/2(木)~29(水祝)「 <u>人形解説</u> 」「 <u>玉藻前囃袂 神泉苑の段</u> 」 ※なお4(土)、5(日)、18(土)、19(日)は「 <u>太夫・三味線・人形解説</u> 」「 <u>戎舞</u> 」 10:00、11:00、13:00、14:00、15:00 ※鑑賞料 大人1,500円 中高生1,300円 小学生1,000円 幼児300円		

こころ豊かな人づくり 500人委員募集!

淡路青少年本部 (〒656-0021 洲本市塩屋2丁目4番5号淡路県民局県民課内)

TEL:0799-26-2048 FAX:0799-26-3090

「こころ豊かな美しい兵庫」の実現に向け、セミナーやワークショップ、実践活動などを通して青少年の育成活動等の担い手となる人を養成します。

- **募集対象**・・・青少年の育成等に意欲を持つ、20歳以上の方
- **受講料**・・・無料 (但し、実費負担必要な場合あり)
- **応募方法**・・・所定申込書を4月17日(金)までに淡路青少年本部へ



所	イベント	日時・会場	料金等
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	写真的自然観2015 平田雅路写真展	4/3(金)~6(月) 10:00~19:00 初日13:00から 最終日17:00まで ※会議室2C-3	鑑賞無料 【問】平田雅路090-3678-9876
洲本市 市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL0799-24-4450 FAX0799-24-4452	淡路洋画セミナー作品展	4/3(金)~29(水祝) 9:00~21:00 月曜休館 ※アールギャラリー	鑑賞無料 【問】市民交流センター
南あわじ市 滝川記念美術館 玉青館 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1 TEL 0799-36-2314 FAX 0799-36-5408	平成27年度 館蔵品展Ⅳ	・~4/19(日) ・9:00~17:00(入館は16:30まで) ・月曜休館	大人300円 高大生200円 小中生100円 ※小中生は「ココロンカード」「のびのびパスポート」利用可 【問】玉青館
	直原玉青没後10年 善縁コレクション展Ⅴ ~千福寺コレクションから~(其の2) 高野山開創1200年記念 弘法大師修行図絵	・4/25(土)~6/28(日) ・9:00~17:00(入館は16:30まで) ・月曜休館(ただし5/4は開館)	
平成27年度 玉青館「友の会」会員募集 【会費】年額 1,000円【申し込み方法・会員特典など】詳しくはお電話でお問い合わせ下さい。			
淡路美術協会公募展 第73回展作品募集	【会期】5/3(日)~5(火祝)9:00~17:00(最終日は16:00まで) 【部門】洋画・日本画・写真・書・彫塑工芸 【会場】洲本市文化体育館 【出品料】一般1,000円(学生無料)【搬入】5/2(土) 10:00~13:00 【問合せ】淡路美術協会幹事長:永田 22-8624 同事務局:廣井 22-1073		

兵庫県が、1対1のお見合いの機会を提供します。

★会員同士の合意が得られた場合、出会いサポートセンターでお見合いします。

★3人のサポーターが、あなたの出会いをお手伝いします。

素敵な出会いを見つけよう

はばたん会員募集中

〒656-0021 洲本市塩屋2-4-5洲本総合庁舎 1階

●TEL (0799) 24-2717 ●FAX (0799) 24-2810

●受付日時 火・木・土曜日 9:00~17:15

※センター休館日:日・月・水・金・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)



編集だより 桜の便りも次々に聞かれる頃となってきました。いよいよ3月21日から『淡路花博2015花みどりフェア』が始まり、お出かけするには本当にいい時期になってきました。よく晴れた日にはどこかへ出かけたいような、家にいるのがもったいないような気分になってきます。そんな時にはぜひ「ポケットあわじ」を片手に、花の名所や体験施設を回ってみてはいかがでしょうか。きっと楽しい1日が過ごせると思います。 応援隊 竹谷 香代



「ポケットあわじ」は、毎月3,000部発行し、応援隊の手により、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約240カ所に無料配布しています。淡路文化会館のホームページでご覧になると、カラー版でお楽しみいただけます。読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。

<http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/>

(発行) 淡路生活創造応援隊
淡路文化会館

〒656-1521 淡路市多賀600
TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400
E-mail: a-pocket@hyogo-ikigai.jp

